

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	ベイズ推定を用いたパクリタキセル単剤および分子標的薬併用療法における好中球数・白血球数の予測性に関する検討 (B25-202)
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学病院 薬剤部・一般職 小泉 璃香子
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	パクリタキセルは多くのがん治療に重要な薬剤ですが、副作用として好中球減少(白血球の一種が減ること)が起こりやすく、感染症のリスクや治療の延期につながります。本研究では、過去の診療データを用いて、患者さんごとの体質や併用薬(分子標的薬など)が血球数の変化にどう影響するかを解析します。これにより、副作用をより正確に予測し、患者さん一人ひとりに最適な投与量を決定するための方法を検討します
調査データ 該当期間	2018年1月1日から2026年2月28日までの情報を調査対象とします
対象となる患者さん	上記期間内に北里大学病院において、胃がん、乳癌、頭頸部がん、卵巣がん、子宮体がん、皮膚がんのいずれかの診断で、パクリタキセルによる治療(単剤または分子標的薬との併用)を受けられた入院患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	2018年1月1日から2026年2月28日までの電子カルテに記載のある診療記録(年齢、性別、身長、体重、検査データ、投薬内容など)を利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日: 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、北里大学薬学部 臨床薬学研究・教育センター 臨床薬学大講座 薬物治療学Ⅰの研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができ

ない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属・職位：薬剤部・一般職

担当者：小泉 璃香子（コイズミ リカコ）

電話：042 - 778-8123

備考